

いわて平泉米だより

令和6年10月号

岩手県フラッグシップ米「金色の風」 県知事が稲刈り作業を行いました

知事による「金色の風」稲刈りが9月11日、奥州市水沢の圃場で行われました。

圃場には達増拓也岩手県知事や県南地区の「金色の風」栽培研究会会長をはじめ関係者が多数集い、当JAからは「金色の風」栽培研究会佐藤正弘会長、熊谷進営農部長、阿部晋米穀課長が出席し、令和6年産「金色の風」のスタートを祝いました。

圃場では、達増知事によるコンバインでの稲刈りが実施され、終了後には知事を囲んで、当JA産「金色の風」の新米で作られたおにぎりを試食し、本年の作柄等について意見交換が行われました。達増知事は試食したおにぎりを「歯にあたった時から気持ち良い」と本年の品質の高さに手応えを感じていました。

「金色の風」は、当JA管内では70%で栽培され約320トンの出荷が予定されています。



関係者が見守る中、コンバインを操作する達増知事